

キウイフルーツ花粉の効率的な採取方法

バルーン状の花蕾を採取し、葯は薄く広げて速やかに乾燥させる

1. 花蕾はバルーン状～部分開花が最適



(固い蕾 バルーン状 部分開花 完全開花)

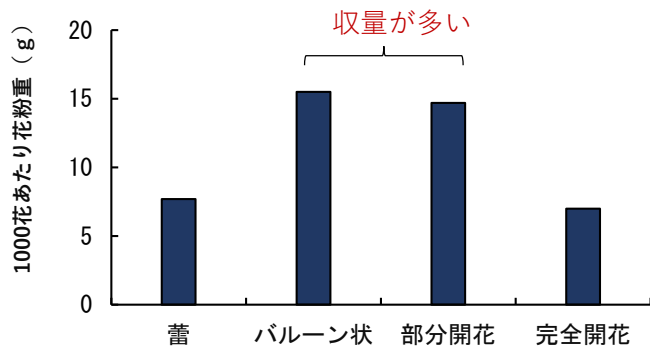


図 開花ステージと花粉の採取量



完全開花した花蕾



目詰まりしやすい

完全開花した花を採葯機に投入すると目詰まりしやすく、
花粉収量はバルーン状の半分程度になる。

2. 開葯(乾燥)は素早く、適温で行う



乾燥しやすいように葯は薄く広げる



開葯温度は25～28℃が適温

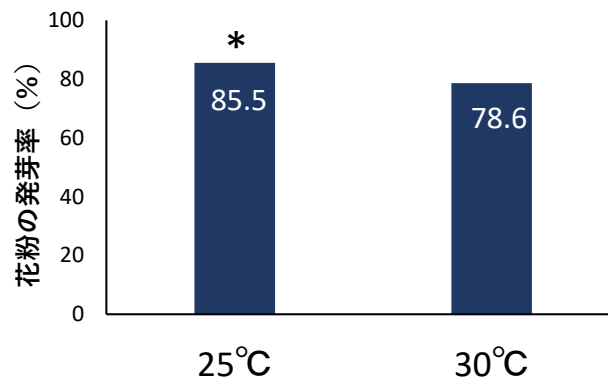


図 開葯温度が花粉の発芽率に及ぼす影響

*はt検定で5%水準で有意差有りを示す(n=4)

30℃以上で開葯すると発芽率が低下する

○完全に開花した花は水分が多く葯の分離が悪くなり、花粉の採取率が低下する。

○開葯時の温度は30℃以上にしない。